

第5学年 「自然条件と人々の暮らし(10時間)」 評価資料

| 単元の目標 | |
|--|--|
| 知識及び技能 | 自然条件から見て特色ある地域の人々が、自然環境に適応して生活していることを理解するとともに、地図帳や統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。 |
| 思考力・判断力・表現力 | 我が国の国土の自然条件の特色と国民生活との関連を多角的に考え比較する力、考えたことを説明する力を養う。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | 我が国の国土の自然環境の特色と国民生活との関連について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情を養う。 |
| 中心となる社会的事象の見方・考え方 | |
| <p>☆ 暖かい地域と寒い地域、高地と低地との比較をもとに、自然条件の特色と暮らしや産業との関係を追求め、表現しようとしている。</p> <p>☆ 北海道で暮らす人々が冬の寒さや雪に備えた工夫をしている様子を、寒さを防ぐための設備の写真資料や雨温図・各地の降雪量などの資料を関連付けて読み取ろうとしている。</p> | |
| 重点とする評価の観点及び指導の具体 | |
| 重点とする評価の観点(1/10) | 暖かい地域と寒い地域、高地と低地との比較をもとに、自然条件と暮らしや産業との関係を問う学習問題をつくり、表現している。 |
| 【子供の表現例】 ○ 同じ4月なのに、沖縄県では海で泳いでいて、北海道ではスキーをしているよ。 ○ 野辺山原は周りに高い山が見えるよ。佐原北部にはおだやかな流れの川が流れているね。 ○ 気候や地形によって人々の暮らしや産業は変わってくるのかな。 | 【指導の手立て】 ○ 気候や地形に特色のある地域の写真をタブレットで比較させ、気付いたことを話し合わせる。 ○ 気づきや疑問をノートに整理し、気候や地形の特色と人々の暮らしや産業にはどのような関係があるのかを予想させる。 |
| 重点とする評価の観点(8/10) | 北海道で暮らす人々が冬の寒さや雪に備えた工夫をしている様子を、複数の資料を関連付けて読み取っている。 |
| 【子供の表現例】 ○ 資料を見ると、北海道は1年間に降る雪の量が多いことが分かるね。気温も低いので、寒さや雪の対策をしているのではないかな。 ○ 雪を生かす取り組みがあるなんて初めて知ったな。 ○ 北海道で暮らす人々は冬の寒さや雪にそなえて暮らしを工夫しているよ。鹿児島県ではどんな工夫をしているのかな。 | 【指導の手立て】 ○ ベン図を活用し、冬の寒さや雪に備えた北海道の人々の暮らしの工夫を視点ごとに分類しながら調べ、視点同士を関連付けさせるようにする。 ○ 鹿児島県のあたたかい自然条件に合わせた人々の暮らしの工夫を振り返り、国土に対する愛情を養い、本時の学びをより深められるようにする。 |
| 重点とする評価の観点(9/10) | 調べた地域の様子をもとに、自然条件と暮らしや産業との関係について考え、適切に説明している。 |
| 【子供の表現例】 ○ 気候や地形に特色のある地域の人たちは、自然条件を生かしながら暮らしているんだね。 ○ 厳しい自然条件をしのぐための工夫や努力があることにも気が付いたよ。 ○ 私たちの住む鹿児島県の自然条件と暮らしや産業との関係についてもっと知りたいな。 | 【指導の手立て】 ○ 気候や地形の特色と人々の暮らしや産業の関わりについて、タブレット上でリーフレットにまとめることで、これまで調べてきた内容を集約・共有させる。 ○ 学習問題について「自然条件」や「暮らしや産業」などの言葉を使って自身の言葉でまとめさせる。 |
| 反省 | |